



イヌの子どもの歯は生えかわるの

早い時期に生えかわる

イヌの歯は全部で42本あります。人間では親不知といわれますが、上あごの第三大臼歯がイヌにはありません。イヌの歯は、とても早い時期に生えかわり、乳歯の切歯などは生後3～5か月のころです。

子犬時代の栄養が大切

子犬時代には、歯の生えかわりに必要な、動物タンパクやカルシウムが、たっぷり必要です。足りないと歯並びが悪くなったり、永久歯が出てこなかったりします。歯並びの悪さは、イヌの品評会では減点の対象になります。

イヌは虫歯になりにくい

あまいものを食べると、ふくまれている砂糖のはたらきで、だ液がすこし酸性になります。この酸が歯をとかします。イヌのだ液は、少しアルカリ性になっていて、少しくらい酸ができて、だ液で中和します。もともと、虫歯ができにくくなっています。しかし、あまい物を取りすぎれば、虫歯になります。（監修・今泉 忠明）

